ボーリング柱状図

調　　査　　名　草木高光線道路改良事業に伴う業務委託

事 業 ・ 工 事 名

ボーリングNo.	5	2	3	3	1	1	7	5	0	0	0

シートNo.

ボーリング名	No.1	調査位置	神石郡神石高原町高光		北　緯	34° 48’ 30.0607″
発注機関	広島県東部建設事務所	調査期間	平成29年 8月17日～平成29年 8月21日		東　経	133° 11’ 37.7400″
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者
孔口標高	517.69m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 90° 東 180° 南 270° 西	地盤勾配 0° 水平 0° 鉛直 90°
総掘進長	11.00m	使用機種	試錐機	東邦地下工機D-1	ハンマー落下用具	半自動型
			エンジン	ヤンマーディーゼルNFD-12	ポンプ	東邦地下工機BG-3C

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 (%) / 最大コア長 cm / RQD [%]	岩級区分	孔内水位／測定月日	標準貫入試験 深度 m	打撃回数／貫入量 回/cm	N値	原位置試験	室内試験	掘進 掘進月日	掘進速度 cm/時	孔径／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧 MPa	回転数 rpm	送水圧 MPa	送水量 l/分	排水量 l/分
1	517.29	0.40		表土	暗褐						・表土及び崖錐堆積物は、礫混じり砂質粘性土。φ=5～10mm程度の亜円礫を多数混入する。また、植物片を混入する。 ・本区間は強風化岩盤である可能性もあるが、N値が小さいことから崖錐堆積物とした。	0 20 40 60 80			1.15	5/30	0 10 20 30 40 50 60										
2	515.19	2.50		崖錐堆積物											1.45												
3	514.09	3.60		花崗斑岩	茶灰	D	V	d	δ	I	・GL-2.50mより、風化した花崗斑岩。		DH		2.15	40/30											
4	513.69	4.00				C	IV	c			・GL-2.50m～8.40mまで、DH～CL級のコアを繰り返す。		CL		2.45												
5	512.19	5.50				D	V	d			・DH級のコアは、砂状で採取される。N値は50以上あるが、ハンマー打撃で容易に崩れる。全体的に亀裂が多く、所々で、亀裂沿いに粘土化している。		DH	8/18 5.20	3.15	50/27											
6	511.69	6.00				C	IV	c					CL		3.42												
	511.39	6.30				D	V	d					DH		4.15	50/28											
7	509.29	8.40			茶褐灰	C	IV	c			・CL級のコアは、礫状～短柱状主体で採取される。比較的硬質であるが、全体的に亀裂が多く、亀裂沿いに風化・変質が認められる。	0[0](100) 12[12](100) 14[14](100)	CL		4.43												
8															5.15	50/28											
9															5.43												
10	506.69	11.00				B	III	c	γ		・GL-8.40mよりCM級の花崗斑岩。コアは、10cm前後の柱状主体で採取される。硬質だが、亀裂は多く、亀裂沿いに風化・変質が認められる。	13[34](100) 12[32](100)	CM	8/19 10.20	6.05	50/16												
11															6.21					8/17	120	66	HW/DI	0～5	150	0	無水/0	0
12															7.00	貫入不能											
13																											
14																											
15																											
16																											

掘進								
掘進月日	掘進速度 cm/時	孔径／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧 MPa	回転数 rpm	送水圧 MPa	送水量 l/分	排水量 l/分
8/17	120	66	HW/DI	0～5	150	0	無水/0	0
						1	泥水/5	5
				0～10	150			
8/18	60～120			5～20	150	1	泥水/5	0
8/19								